

障害のある学生の修学支援（合理的配慮）申請書

※ 記入は黒ボールペンを使用してください（消えるペン不可）※

申請日： 年 月 日

名古屋学院大学 学部長 様

学籍番号		フリガナ 氏 名	
住 所		携帯番号	
緊急連絡先 氏 名	続柄（ ）	電話番号	

下記のとおり 年度 学期の配慮・支援を申請いたしますので、よろしくお願いいたします。

1. 障害名・疾患名

--

2. 添付書類 ※添付する書類の番号を丸で囲み、必要に応じて補足内容を記入してください。

(1) 医師による診断書（コピー可）
(2) 障害者手帳のコピー：身体・精神・療育・その他（ ） 級 種
(3) 上記書類の提出ができない場合、その他大学が求める書類（ ）

3. 申請の理由・現状 ※修学上、困難を伴う事項を具体的に記入してください。

--

4. 授業・平常試験や定期試験に対する必要な配慮・支援の内容 ※具体的に記入してください。

--

5. 出身校で受けた配慮・支援の内容 ※配慮を受けていなかった場合は記入不要です。

--

※ 以下の欄は大学記入欄のため、申請者は記入しないでください ※

- ◆面談日： 年 月 日 ()
- ◆面談者： (学生相談室・保健センター・保健室)
- ◆個人情報の共有範囲の確認：
 - ・学生の所属学部の学部長、教員
 - ・学生が申請を希望した今学期履修科目の担当教員
※履修科目の担当教員がL Aやインストラクターの場合は代表教員も含む。
 - ・学生サポートセンター
 - ・保健センターまたは保健室
 - ・学生相談室
 - ・教務課または瀬戸キャンパス総合事務部

※ 以下の欄は学部長との面談以降に使用するため、申請段階では記入しないでください ※

- ◆以下の内容を確認いただけましたら、□にチェックをしてください。
そして、文末の日付、学籍番号、氏名を記入してください。
- 配慮依頼文「障害のある学生の修学支援（合理的配慮）に関するお願い」の内容を確認しました。配慮・支援の申請内容などに相違ありません。
- 新たに配慮・支援の内容を追加する場合、再度の面談が必要になることを了承しました。
- 配慮・支援に関わる個人情報を学内関係者教職員へ提供することに同意します。
※支援にあたって知り得た個人情報は、学外の第三者に提供・漏洩するなど、支援業務の範囲を超えて使用しません。
- 本制度は「授業への参加機会の保証」であり、
単位修得を保証するものではないことを理解しました。
- 配慮依頼文の配信完了後は、私（学生本人）が責任をもって担当教員に連絡し、
授業への参加方法などについて、建設的に話し合いを進めていきます。
- 修学支援申請者として、定期面談（月1回程度）を必ず受けます。
受けない場合、今回の修学支援が取り消される可能性があることを了承しました。
- 定期面談（月1回程度）を無断で欠席した場合や、授業自体の欠席が継続した場合には、
大学から保証人へ直接連絡する可能性があることを了承しました。

年 月 日

学籍番号：

氏名（自署）：